



水族館の玄関付近に飾られた感謝の花束

男鹿水族館の亡き母グマに花束

「ありがとう」
男鹿市の男鹿水族館GAOの入
り口に5月中旬、亡き母グマに届
いた花束が飾られた。添えられた
メッセージは短いながらも、普段
は言えない感謝を伝える「母の日」
に合わせ、温かな思いが詰まっ
ていた。

母親は雌のホッキョクグマ「ク
ルミ」。1月末、21歳でこの世を
去った。2本足で立ち上がる姿で

長年愛された人気者だった。
2011年に北海道の釧路市動
物園から嫁入り。12年に雄の「豪
太」との間に念願の娘「ミルク」
を授かり、晴れて母親となった。
プールで溺れかけたミルクを助
け出したり、一緒におもちやで無
邪気に遊んだり。愛情たっぷりに
子育てする姿は来館者や飼育員の
心を癒やしてくれた。

順調に成長したミルクは14年、
母親の故郷の釧路市動物園に巣立
った。2本足で立つなど母譲りの
愛嬌を振りまき、今や園のアイド
ルの存在だ。

「みんながクルミを忘れず、心
に留めてくれていることがうれし
い」。花束は、職員の心にぽっか
り開いた隙間も埋めてくれた。

(秋田総局・鈴木俊平)

人気者に感謝の思い

かほく

ワークシート

問題

- ①男鹿水族館GAOの人気者だった雌のホッキョクグマが、1月末に亡くなりました。この記事に出てくるホッキョクグマの名前は何かといいますか。
- ②母親としての愛情たっぷりの子育ての様子を表す文章を書きだしましょう。
- ③成長した娘（ホッキョクグマ）は、今はどこにいますか。

雌（母親）…（ ）

雄（父親）…（ ）

雌（娘）……（ ）

(小学校高学年／道徳、学級活動)

事件や事故を伝えることの多い新聞ですが、時には心が温まるような記事もあります。今回取り上げたものは記事を読むと、ホッキョクグマの親子が来館者にどれほど愛されていたかが

出題者から

よく分かります。親子のそれぞれの名前がかわいいですね。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・元小学校校長 斎藤昭雄)